人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 成人脊柱変形手術後の膝関節屈曲角（KFA）による下肢代償改善不良と近位隣接椎体障害（PJF）発生率との関連
	●研究の対象 2010 年 3 月～2024 年 6 月の期間に、浜松医科大学医学部附属病院の整形外科で成人脊柱変形手術を受けられ、術前後に股関節・膝関節・足関節を含む立位下肢全長 X 線写真が撮影された、40 歳以上の方。
	●研究の目的 成人脊柱変形手術を受けられた方の術前後の X 線写真から、膝の曲がり具合（膝関節屈曲角）などの下肢のアライメント（バランス）を計測し、手術後にその改善が乏しい方では、近位隣接椎体障害（PJF）と呼ばれる合併症の発生率が高くなるかどうかを明らかにすることです。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2031 年 12 月 31 日まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 該当なし（浜松医科大学医学部附属病院内で取得された診療情報・X 線画像のみを用い、他機関へのデータ提供は行いません。）
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 対象者の背景（年齢、性別、身長、体重、BMI など）、手術に関する情報（手術時間、出血量、固定範囲など）、X 線写真から計測した脊柱・骨盤・下肢のアライメントデータ、術後合併症（PJF）に関する診療情報　など

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 浜松医科大学 研究責任者：長寿運動器疾患教育研究講座　特任講師　大江慎
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：　長寿運動器疾患教育研究講座 担当者：　大江　慎 TEL：　053-435-2299

	E-mail： mecersior@gmail.com